

HACCP 実践研究会は、私が食の安全を守るための実務家としての道しるべを求めて門をたたき、今日まで創意工夫して HACCP を実践する日々を長く支えてもらった団体です。歴史のある、また誠実で温かなこの団体の一員として貢献できることを心から嬉しく思っております。

新型コロナウイルスによって、私達が従来持っていた世界観、価値観の枠組みは根本的に揺るがされ、新しいものに転換されました。人類にとって大きなパラダイムシフトをもたらした新型コロナウイルスのさなかに、HACCP も制度化になり、全ての食品等事業者に取り組みが義務化されました。それに伴って HACCP 実践研究会も新しい活動のステージを迎えています。

私はこの新しいステージで皆様とともに歩んで行きたいことは 3 つあります。

一つ目は、HACCP を基軸とした食品安全に関するリカレント教育の場所づくりです。現代社会は「人生 100 年時代」とも言われますように、10 代・20 代に受けた教育によって身につけた知識だけで、豊かな生涯を全うすることは、もはや困難になってきています。食品に関わる皆様が新しい知識やスキルを身に着けるための継続的な学びの場として、実務者養成講習会やその後のフォローアップ研修会の役割は重要であると考えています。

二つ目は、HACCP を実践するための学際的なサポートの提供です。HACCP を生きた活動として実践していくためには、HACCP そのものの知識に加えて、教育学、心理学、組織学、経営学、法学、リスクマネジメント学など本当に様々な学問が関連しています。このようなことについて個人が有効性が高いものを見極めて、個人的にアプローチすることは難しく、非効率であるため、HACCP を実践していく際、一層有意義で良い活動ができるための周辺の学びを提供していくことに取り組んで参ります。

三つ目は、HACCP をそれぞれの場所で実践する皆様にとってのサードプレイスとしての機能です。サードプレイスとは、アメリカの社会学者レイ・オルデンバーグが提唱した、自宅でもなく、学校や職場でもない、第 3 の場所という概念で、そのような場所を持っていることによって、新しい気づきや活力をもたらすことができるというものです。私自身がサードプレイスとして実践研究会の存在によって、助けられ、更なる活動の原動力となってきたことを皆様と分かち合っていきたいです。

今後とも、皆様と協力し合いながら、食品の安全という豊かな生活のために必要不可欠な分野において、社会に貢献し、皆様とともに歩んでいくことを心から楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。